

精神科専門研修プログラム

多様性に富んだ心と人生を支える精神科医を目指してみませんか？

募集定員 **10名** 研修期間 **3年**



責任者からのメッセージ

精神科 准教授 **平野 羊嗣**



目まぐるしく変化する現代社会のニーズに応えるべく、精神科医の活躍の場は益々増えています。患者さんの悩みや人生に寄り添い、多様性に富んだ人間の心(脳)を診ることができる、一流の精神科医を育てることが我々の最大のミッションです。そのために、当科は個々人の多様性と自由闊達な雰囲気大切にしています。当科のプログラムは、指導体制が充実した多数の高度な専門医療機関と連携しながら、常にバランスのいい研修ができるように心がけています。また、精神科医として欠かせない科学的な視点を養うためにも、専門医を目指しながら研究に従事できる環境も整えています。我々と一緒に、多様性に富んだ心と人生そのものを支える精神科医を目指してみませんか？

プログラムの特徴

県内の多くの精神科医療機関と連携したプログラムです。基幹施設の宮崎大学医学部附属病院精神科では、救急部と連携した精神科救急、身体合併症、難治性精神疾患、器質性精神障害、緩和ケア、リエゾンなど学びます。県立宮崎病院、児童思春期の専門医療機関、認知症疾患医療センター、単科精神科病院などをローテーションして研鑽を積み、精神保健指定医と専門医を並行して取得することが可能です。また、大学院進学プログラムもあります。石田康教授の退官に伴い、2024年からはプログラム責任者が平野羊嗣准教授に交代し、これまで積み重ねてきた知見に新たな風が加わり、より充実したプログラムをお約束します。

連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	平野 羊嗣 准教授、他6名	統合失調症、気分障害、神経症性障害、認知症。精神科救急、思春期症例などの治療、さらに身体合併症治療、コンサルテーション・リエゾンなど精神科臨床を幅広く経験できる。
連携施設	県立宮崎病院精神医療センター、国立病院機構 宮崎東病院、井上病院、協和病院、高宮病院、大悟病院、野崎病院、宮崎若久病院、内村病院、国見ヶ丘病院、県南病院、鮫島病院、都城新生病院、田中病院、谷口病院、永田病院、吉田病院、延岡保養園、若草病院、九州大学病院		

取得可能な専門医資格および技能

日本精神神経学会専門医・精神保健指定医を取得後は、精神科医としての経験を積みながら、サブスペシャリティを深めることを推奨します。大学院精神科では、以下の専門医などが取得できます。

- 日本老年精神医学会認定専門医
- 日本緩和医療学会専門医
- 子どものこころ専門医
- 精神科救急認定医
- 一般病院連携精神医学専門医

専門医取得までのタイムスケジュール

1年目は大学病院において、精神科の基礎知識習得のため新たに導入した精神科クルズスを皮切りに、主要な精神疾患の診断や治療、さらには身体的・器質的疾患の除外など、精神科医として必要な幅広いスキルと論理的考察を身につけます。2年目以降は各自の希望に沿ってプランを組んでいきます。精神保健指定医や専門医として必要な症例も3年間で十分経験することができます。学会発表や論文、症例報告の指導を通じ、科学的な視点で精神疾患を診る姿勢を学んで頂きます。また、リサーチマインドの涵養のため、専門医取得と併行して博士課程で学位を取得することも可能です。



ダブル取得! ●精神科専門医 ●精神保健指定医



プログラム達成目標

1年目は指導医と一緒に、主要な精神疾患を受け持ち、面接技法、診断と治療計画、薬物療法及び精神療法の基本を学ぶ。身体疾患に伴う様々な精神的問題に対処すべく、リエゾン精神医学も経験する。症例カンファやセミナーに参加し、学会や研究会で発表する。2年目は指導医の指導のもと、面接技法、診断、治療計画の能力を高める。薬物療法の知識を深め、認知療法など精神療法の基本的な考え方を学ぶ。また、症例報告などの執筆や学会発表の指導を受ける。3年目は指導医から自立して診療できるようにする。各種精神療法を上級者の指導の下に実践し、心理社会的療法、精神科リハビリテーション、地域精神医療等を学ぶ。

週間スケジュール (宮崎大学医学部附属病院の例)

時間	月	火	水	木	金
AM	病棟業務 外来予診	病棟業務 外来予診	病棟業務 外来予診	病棟業務 外来予診	病棟業務 メタ認知トレーニング
PM	入退院カンファ & 病棟回診 病棟業務 脳波カンファ	病棟業務 リエゾンカンファ & 回診 精神科救急カンファ & 回診	病棟業務 集団精神療法	病棟業務 & SST 緩和ケアカンファ & 回診	Clinical & Research セミナー 病棟業務 病棟カンファレンス

指導医からのメッセージ



講師 **船橋 英樹** (医局長)

精神科には、精神保健指定医と精神科専門医の二つのライセンスがあります。3年の時間をください。大学病院を基幹として、県内外の連携施設とともに、指定医・専門医にふさわしい症例を経験してもらい、疾患の考え方から治療法、精神保健にまつわる法律、レポートの書き方まで、責任をもって指導します。申請者はすべて遅滞なく合格しています。まずはスタンダードができる精神科医をしっかりと育成しますし、そこからサブスペシャリティの相談にも乗ります。従来の老年精神科専門医、緩和医療専門医に加え、子どものこころ専門医、精神科救急専門医、リエゾン専門医の体制を整備しました。大学院で博士を取得したい人もぜひ。お待ちしております。普段より真面目に答えています。

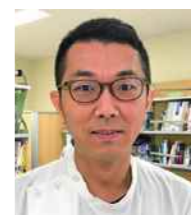
先輩からのメッセージ

助教 **古郷 央一郎** (リエゾンチームリーダー・救命救急センター担当)

救急で働く精神科医ですが、休みの日は仕事を忘れて一生懸命遊びます。自然豊かな宮崎県では、車で1時間もあれば、渓流釣り、キャンプ、サーフィンなどアウトドア全般を楽しめます。休日は仕事を忘れて自然と対話し、キャンプで家族と大笑い。4人の子供達との日々は、まさに冒険そのもの。忙しいけどメリハリのある生活を送っており、このバランスが僕のリフレッシュ法です。宮崎大学精神科では、医局員の健康を第一にサポートしてくれています。仕事もプライベートも全力投球で、毎日を楽しみましょう！

主要症例名と実績数

症例	外来	入院
F0 器質性精神障害	約4,600例	約2,200例
F1 精神作用物質障害	約800例	約500例
F2 統合失調症圏	約3,700例	約2,300例
F3 気分障害	約4,500例	約1,000例
F4 神経症性障害	約3,000例	約400例



助教 **大平 洋明** (教育医長・卒後臨床研修センター)

精神科専門研修をお考えの先生、精神科に興味を持っていただき有難うございます。先に白状しますと、当教室は田舎の大学精神科医局です。常に人手不足です。都会のキラキラした大規模病院のように、様々な専門性を売りにしているわけではありません。カリスマ指導医も、今はまだ、いません。けれど小さいからこそ結束力が強く、日々起こる想定外の事態に知恵を出し合って対応しています。精神保健指定医や精神科専門医を取得するための症例には事欠きません。指導医も病棟医もそれぞれ専門性を意識しながら診療や研究に専念しています。宮崎県の自殺対策に情熱を燃やす医師、災害精神医療の研鑽や準備に余念のない医師、他科と密に連携しながら緩和ケアに貢献する医師、電気けいれん療法の最適化を臨床の立場から模索する医師、サーファーの精神世界に惹かれ早朝必ず波に乗ってから臨床に臨む医師、など魅力的な先輩だけです。もちろん、子育て中の医師もおり、ライフサイクルに合わせた柔軟な勤務、研修が可能です。精神科医としての第一歩を、ぜひ当科の研修プログラムで踏み出してみませんか。4月にお会いできますことを、楽しみにお待ちしております！



お問い合わせ先

担当: 船橋 英樹

TEL: 0985-85-2969
FAX: 0985-85-5475

e-mail: psychweb@med.miyazaki-u.ac.jp

精神科 HP

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/psychiatry/

